



47日間の3学期始動

明けましておめでとうございます。

25日間の冬季休業が終わりました。それぞれどんな休みを過ごしたのでしょうか。家族との団欒はできましたか。地域の行事にも参加できたでしょうか。何よりも、規則正しく、健康で、安全に過ごせることが第一です。更に自分の目標をやり遂げられたなら、充実した休みだったと言えるでしょう。

始業式に顔を合わせた児童の様子は、新しい希望に満ちているように感じました。学年代表児童の言葉にもこの3学期への熱意が感じられました。今年亥（いのしし）年。「イノシシはどんな相手にも向かっていく勇気や冒険の年」という謂われがあるようです。この3学期、丹波小学校児童・職員全員で、一直線に目標に向かって突き進んで行きたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



や冒険の年」という謂われがあるようです。この3学期、丹波小学校児童・職員全員で、一直線に目標に向かって突き進んで行きたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

書きぞめ大会

1月17日（木）、全校で「書きぞめ大会」を行いました。1・2年生は硬筆（鉛筆）で詩を原稿用紙に写します。3～6年生は毛筆（筆）で、2文字から4文字の言葉を習字半紙に書きます。どの児童も12月には学校で、冬休み中は家庭で練習に取り組んできました。さて、本番。皆、気持ちを込め、一字一字丁寧に、落ち着いて書き上げていました。清書は練習してきた作品より目に見えて進歩があり、成果が十分に表れていました。皆、自慢の一枚が仕上がったようです。



コットンボール

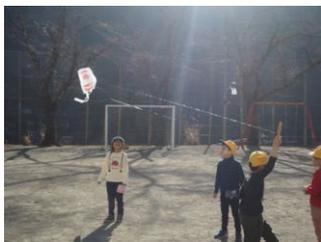
紹介が遅れましたが、実は2学期末にコットンボール作りを行いました。榎澤千代男様にお手伝いをいただき、全校で作品作りに挑戦しました。①風船をふくらませる ②風船に色とりどりの紐を巻く ③糊付けする ④乾燥をさせる ⑤中の風船を割る、という手順なのですが、紐を巻く加減や巻き数などの作業がたいへんでした。陰ながら高橋校長先生が行っていた補修により、多くのコットンボールが仕上がりました。

12月19日（水）には、全校で飾り付けをしました。このコットンボール飾りは、「道の駅」に展示されており、夜もライトアップされていましたが、御覧になりましたか。キラキラと輝く様子はひじょうに幻想的でした。



昔遊び

1月23日(水)、生活科の学習として、1・2年生が昔遊びを行いました。「たこあげ」「はねつき」「あやとり」、丹波山村の地域の方の中には懐かしく感じる方もおられるかもしれません。児童にとって経験の少ない遊びですが、かえってそのために興味が沸くらしく、意欲的に取り組んでいました。世間ではポータブルゲームやサッカーが主流(丹波小の低学年はおにごっこやブランコが人気)ですが、生活の中でのいろいろな遊びが児童の豊かな心を育てていくのだと考えます。今回の「昔遊び」を通して児童の遊びの幅が広がり、友達と多くの経験を積んでいくきっかけになればうれしく思います。



第3回オープンスクール



1月24日(木)、第3回のオープンスクールが行われました。1・2校時は村民スケート場でスケートの授業を行いました。児童は今年度2回目のスケート教室。たくさんの保護者にも参観していただく中、皆張り切って練習に励みました。スケートは初めての児童も多いのですが、2回目ともなると慣れたもの。すっかり滑



るコツをつかんでいました。低学年は前進滑走や止まり方、高学年は少し高度な交差や足上げなどの練習をしました。一緒に練習している先生達よりも児童の方が上達が早く、若さには勝てないことを身にしてみた職員でした。

3・4校時はそれぞれの教室での授業を行いました。引き続き保護者の皆様には学校に足を運んでいただきありがとうございました。スケートでエネルギーを消費してしまったためか、



児童はいつもよりトーンダウンの感じでしたが、体力を考えるとしかたのないことかもしれません。普段の学校生活ではよくあることです。児童なりにメリハリをつけているのかもしれません。

正月飾り借用



今年も廣瀬俊之様より小正月の飾りを借用しました。手作りされた立派な「繭玉」や「かどんどうし」です。昔はこの地域でも玄関に小正月の飾りをしたようですが、今ではこの丹波山村でも数軒のようです。丸めた餅や団子を柳の枝にさした「繭玉」は、作物(丹波山村ではそばや麦)の豊かな「稔り」を、材木に男女の顔を模した「門之道神(かどんどうしん)」は魔除けの意味があるのだそうです。現在、学校の玄関に飾らせていただいております。

